

輝く力 国際科学オリンピック

課題解決力競い、国際交流も深める

「国際科学オリンピック」

とは、世界中の高校生たちが一堂に会して科学の力を競うイベントです。現在、日本の高校生が参加しているのは、数学、物理、化学、情報、生物、地理、地学の7教科のオリンピックです。

ぜひ高校生の皆さんには「国際科学オリンピック」に挑戦していただきたいと思えます。日本から派遣される代表となるためには、まず国内での選抜試験を受けて代表候補者となり、さらに研修を受けてから最終試験によって代表に選ばれて、「国際科学オリンピック」に派遣されます。各教科の国際選抜試験や研修の日程・方法等については、以下のサイトに記載されています。

<https://www.jst.go.jp/cpse/contest/road/index.html>

七つの「国際科学オリンピ

ック」に共通するコンセプト

は①高度の課題を、時間をかけて解決する力を競うこと②若者たちの国際的な交流を深めること③開催国（地域）の文化や科学に触れる機会を持

つことーの三つです。

大体1週間くらいの日程の間に、試験が行われるのは2日間程度。後は、さまざまなプログラムに参加します。例えば、開催国の研究所、文化遺産の訪問、著名な科学者の講演

を一緒に聞き、

またスポーツと一緒に楽しみ、参加者同士は友達となります。実際に、「国際科学オリンピック」に参加してから数年して研究者となったと



記者説明会（令和4年8月）に登壇した国際科学オリンピック日本代表選手たち

きに、研究所や学会等で再会するということとはしばしば起こり、とても楽しいことです。

上記のような「国際科学オリ

ンピック」のコンセプトは、実は国内での選抜試験でも生かされています。最初の段階は各地で開催される（あるいはオンラインによる）筆記試験ですが、その次の段階では1力所に集まって試験を受けます。教科によっては、筆記試験だけでなく実験試験なども行われ、さらに参加者の交流プログラム（近隣の研究所の訪問、先生方や参加企業によるデモ実験への参加など）も行われます。従って、国内選抜に挑戦するところでも、きっと楽しい経験をするようになります。

（北原和夫・日本科学オリンピック委員会運営委員会委員長）



本連載では「国際科学オリンピック」の歩みや今後の役割などを探っていきます。